

## 各種基金の積み立てについて



おかざわ きよし  
 岡沢 議員

**質問** 過去の積み立て実績はどのような計画に基づくものか。

**答弁（総務部長）** 財政調整基金については、標準財政規模40億円の15%に当たる6億円を目安として積み立てている。現在は、約6億2,300万円の積み立てとなっている。減債基金については、特別に目標額の設定は行っていない。陸平基金については、村内のゴルフ場の利用者から、一人当たり50円の寄附金を合わせたものを積み立てており、年間約1,000万円

の積み立てとなっている。通学交通基金については、平成20年度に基金を設置して約1,800万円の積み立てとなっている。龍ヶ崎市方面に通学する生徒の保護者が中心となり、バスの運行資金となったものを積み立てたもの。

**質問** 平成28年度以降、3年間の積み立て計画について、財政調整基金・減債基金はどれくらいの残高を維持できるのか。

**答弁（総務部長）** 財政調整基金については、今後の財政



不足に対処するため、毎年1億円の取り崩しを見込んでいる。平成30年度末では3億円程度の残高となる。減債基金については、村債の償還金分の財源としての取り崩しを見込んでいるので、平成30年度末では、現在の約2億6,900万円から4,000万円程度となる。

**質問** 今後、多額の基金の取り崩しが予定される事業計画はあるのか。

**答弁（総務部長）** 公共施設の施設改善工事の財源として、公共公益施設整備基金4,000万円の取り崩し、さらに、陸平基金については、陸平貝塚の保存、活用等の財源として、毎年900万円の取り崩しを見込んでいる。そのほか、時期は未定だが、学校給食センターの建設の予定があり、学校施設建設基金をその時の財源として考えている。

**質問** 財政調整基金と減債基金について、5年後には枯渇するのではとの危惧を抱いている。財政改革に取り組むべき。どのような財政運営を行っているのか。

**答弁（村長）** これからの美浦村の財政のいい見通しは難しい。この何年かの事業の中で、選択と集中をより鮮明にしていかなないと、基金の枯渇という部分になるかもしれない。執行部だけでなく、議会の皆さんと一緒に考えていかなければならない。

